

アカデミー賞 6部門ノミネート!

〈作品賞／監督賞／助演男優賞（マーク・ラファロ）
助演女優賞（レイチェル・マクアダムス）／脚本賞／編集賞〉

マーク・ラファロ マイケル・キートン
レイチェル・マクアダムス リーヴ・シュレイバー
ジョン・スラッテリー and スタンリー・トゥッチ

スポットライト 世紀のスクープ

『扉をたたく人』『靴職人と魔法のミシン』
トム・マッカーシー監督最新作

暗闇にひときわ輝く、希望の光



監督:トム・マッカーシー 脚本:トム・マッカーシー、ジョシュ・シンガー 編集:トム・マカドール 撮影:マサノブ・タカヤナギ

出演:マーク・ラファロ「フォックスキャッチャ」『はじまりのうた』、マイケル・キートン『ハードマン』あるいは(無知がもたらす)奇跡』

レイチェル・マクアダムス『アバウト・タイム~愛おしい時間について~』、リーヴ・シュレイバー『完全なるチェックメイト』、スタンリー・トゥッチ『ラブリーボーン』

2015年/アメリカ/英語/128分/原題:SPOTLIGHT/日本語字幕:齋藤敦子 提供:バップ/ロングライド 配給:ロングライド © 2015 SPOTLIGHT FILM, LLC

ENTERTAINMENT ONE FEATURES PRESENTS IN ASSOCIATION WITH PARTICIPANT MEDIA AND FIRST LOOK MEDIA AN ANONYMOUS CONTENT AND ROCKLIN/FAUST PRODUCTION "SPOTLIGHT" MARK RUFFALO, MICHAEL KEATON, RACHEL McADAMS, LIEV SCHREIBER, JOHN SLATTERY, AND STANLEY Tucci CASTING BY KERRY BARDET AND PAUL SCHNEE MUSIC BY HOWARD SHORE COSTUME DESIGNER WENDY CHUCK EDITOR TOM McCARDIE PRODUCTION STEPHEN CARTER, DESIGNER MASANOBU TAKAYANAGI EXECUTIVE PRODUCERS JEFF SKOLL, JONATHAN KING, PIERRE DADIYAR, MICHAEL BEDERMAN, BARD DORRIS, JOSH SINGER, TOM ORTENBERG, PETER LAWSON, XAVIER MARCHAND, PRODUCED BY MICHAEL SUGAR, STEVE COLIN, NICOLE ROCKLIN, BLYE PAGON FAUST, DIRECTED BY TOM McCARTHY WRITTEN BY JOSH SINGER & TOM McCARTHY, ANONYMOUS content, eOne, HOWE records, spotlight-scoop.com

participant media

FIRST LOOK

WRITTEN BY JOSH SINGER & TOM McCARTHY

DIRECTED BY TOM McCARTHY

ANONYMOUS

content

eOne

HOWE

records

spotlight-scoop.com



放送映画批評家協会賞／全米映画批評家協会賞／ロサンゼルス映画批評家協会賞／インターネット映画批評家協会賞 ドラマ映画賞
 アメリカン・フィルム・インディペンデント映画賞／トピック10作品／ナショナル・ボーナス賞／レピュブリック賞／10月賞／サムライインディペンデント映画賞
 ニューヨーク映画批評家協会賞／女性映画ジャーナリスト同盟映画賞／アカデミー賞／アカデミー賞／アカデミー賞／アカデミー賞／アカデミー賞／アカデミー賞／アカデミー賞／アカデミー賞
 セントラル・オハイオ映画批評家協会賞／シカゴ映画批評家協会賞／シカゴ映画批評家協会賞／シカゴ映画批評家協会賞／シカゴ映画批評家協会賞
 フェニックス映画批評家協会賞／フェニックス映画批評家協会賞／フェニックス映画批評家協会賞／フェニックス映画批評家協会賞／フェニックス映画批評家協会賞
 フェニックス批評家サークル賞／フェニックス批評家サークル賞／フェニックス批評家サークル賞／フェニックス批評家サークル賞／フェニックス批評家サークル賞
 ボストン・オンライン映画批評家賞／ボストン映画批評家賞／ボストン映画批評家賞／ボストン映画批評家賞／ボストン映画批評家賞
 デトロイト映画批評家協会賞／サンフランシスコ映画批評家協会賞／ボストン映画批評家協会賞／ワシントンDC映画批評家協会賞



受賞＆ノミネート総数 計210

"作品賞"受賞のみ抜粋 / 2.8現在



ピューリッツァー賞に輝いた “世紀のスクープ”をスリリングに映画化

2002年1月、米国の新聞「ボストン・グローブ」が、カトリック教会の信じがたい実態を報じた。数十人もの神父による児童への性的虐待を、教会が組織ぐるみで隠蔽してきた衝撃のスキャンダル。その許されざる罪は、なぜ長年黙殺されたのか。『スポットライト』という名の特集記事を担当する記者たちは、いかにして教会というタブーに切り込み、暗闇の中の真実を探り当てたのだろうか。



出演俳優が“全員主役”！ チームプレーが織りなす極上のアンサンブル

『扉をたたく人』、『靴職人と魔法のミシン』のトム・マッカーシー監督が真っ直ぐに堅実に描き出すのは、記者たちの闘いの軌跡。驚愕の事実が次々と明らかになるその取材過程には息もつかせぬスリルがみなぎり、やがてラストの感動へと昇華していく。そして特筆すべきは出演俳優が“全員主役”であること。豪華キャスト陣が綿密なりサーチのもと、リアリティを追求してチームプレーに徹した結果、数多くのアンサンブル演技賞の受賞に至った。



ただ真実を伝えたい—— 剣でなく“ペン”を構えたヒーローたち

今、私たちは誰もが「正しいことは正しい」と言うことの出来る社会に生きているだろうか？自社の購読者の半数以上がカトリック信者でありながら、『スポットライト』チームが立ち向かった相手はカトリック教会。記者生命に懸けて真実を求める彼らの存在は、この閉塞した現代にひときわ眩い光を放ち、我々の良心をも照らし出す。報道後はもちろんのこと、本作の上映を機に被害にあった元子供たちが続々と声を上げ、その声は確実にバチカンへ届いている。*

*ローマ法王庁が2月初旬に本作の上映会を主催した。

4.15 金 ロードショー！

ムビチケカード ¥1,500（税込）（当日一般¥1,800の処／一部劇場を除く） 2.20発売開始！

劇場窓口でお買い求めの方にオリジナル・ポストカードを“もれなく”プレゼント！



スポットライト 世紀のスクープ